

経営協議会議事録
(令和3年度第5回)

令和4年1月24日(月)
13時00分から15時00分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長 玉手英利
委員 相澤益男 井上弓子 小林裕明 里村正治 鈴木道子 西海和久
萩原なつ子 長谷川真理子
飯塚 博 出口 毅 矢作 清 根本建二 花輪公雄 額瀨 晃 佐藤慎哉

列席者

副学長 林田光祐 羽鳥政男
監事 渡辺 均 大森夏織

欠席者

委員 吉村美栄子

- 1 経営協議会議事録(11月26日開催、1月11～14日書面審議)の確認
玉手学長から、本会議事録(11月26日開催、1月11～14日書面審議)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】国立大学法人山形大学業務方法書の一部改正について
花輪理事から、国立大学法人法の一部を改正する法律等が施行されることに伴い、業務方法書の一部を改正することについて審議願うものである旨説明があった。
次いで玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 3 【協議】令和4年度施設整備方針及び令和5年度施設整備概算要求方針(案)について
額瀨理事から、施設整備の方向性を定めた「令和4年度施設整備方針及び令和5年度施設整備概算要求方針(案)」について審議願うものである旨説明があった。
次いで玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な質問は次のとおり。

- ・キャンパスが分散していると縦割りになりがちであるが、今後どのようにして大学全体での施設整備に取り組んでいくのか。

- 4 【報告】中期目標(原案)・中期計画(案)について
花輪理事から、議題に関して報告があった。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・中期目標計画期間は6年間であり、PDCAのサイクルを早く回していくためには、もう少し前倒しで事業を進めるべきではないか。
- ・これまでの毎年度評価が無くなるため、大学が自主的にPDCAサイクルを回していく必要がある。少なくとも年に1回は、大学としての大きな目標に対しKPIの進捗を見て、必要な見直しを行うべきである。
- ・文科省に出す目標とは別に、山形大学として独自に何をやっていくかを考え、毎年目標を設定し進めるべきである。

5 【報告】令和3年度補正予算及び令和4年度政府予算案における山形大学の状況について
根本理事及び額額理事から、議題に関して報告があった。

6 【報告】「国立大学法人山形大学の経営人材育成方針」の制定について
学長から、議題に関して報告があった。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

・人材育成に関する取組について、今後データに基づく評価ができると良いのではないか。

7 【報告】山形大学医学部東日本重粒子センターの進捗状況について
根本理事から、議題に関して報告があった。

8 【報告】令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果について
花輪理事から、議題に関して報告があった。

9 【報告】令和3年度大学院入試について
出口理事から、議題に関して報告があった。

10 【その他】令和4年度経営協議会開催日程について
学長から、来年度の開催日程に関して報告があった。

11 その他
花輪理事及び佐藤病院長より、本学の新型コロナウイルス対応状況について報告があった。

次回は、令和4年3月16日（水）に開催することとなった。